

千葉大学感染症情報 2013-2014 シーズン 第5報

麻しん緊急情報

【麻しんが流行しています！】

予防接種記録の確認と追加接種を！海外渡航時には特に重要です。

千葉県感染症情報センターによれば、「県内の麻しん症例は、2014 年第 8 週に 4 例の報告があり、累計は 17 例となった。保健所別では、松戸 13 例、野田 2 例、習志野及び市川各 1 例であった。年齢群別は、10 歳未満が 9 例、10 代及び 20 代が各 3 例、30 代 2 例であった。予防接種歴は、2 回接種有が 3 例、1 回接種有が 1 例、無し、あるいは不明が 13 例であった。推定感染地域では、国内が 14 例、国外は 3 例で、すべてフィリピンであった。全国では、第 7 週に 16 例の報告があり、累計 103 例となった。近隣都県では、埼玉県 5 例（12 例）、神奈川県 2 例（10 例）、東京都 1 例（9 例）の報告があった。」とのこと。

麻しんは、感染力が強く、「体育館に一人患者いた場合、同じ館内にいた免疫を持たない人は 90%の確率で発症する」と言われています。また、重症化する病気としても恐れられており、「麻しんは命定め」と言われた時代もありました。現代においても有効な治療方法がなく、患者の 100 人に一人が肺炎、1000 人に一人が脳炎を発症するという怖い病気です。

現在、東南アジアでも大きな麻しん流行が起こっており、渡航先で感染した場合、飛行機への搭乗許可が得ず、現地に延泊・帰国便のキャンセルと振替を行わなくてはなりません。

唯一の予防方法は、予防接種です！

- 1) 1 歳、小学校就学前年、中学 1 年、高校 3 年のいずれかで 2 回の麻しん風しんワクチンを接種していることを確認してください。
- 2) 抗体検査を受けている場合は麻しんに対する有効な抗体価があることを確認してください。
- 3) 2 回の予防接種が済んでいない、有効な抗体価がない方には麻しん風しんワクチンの追加接種をお勧めします。
- 4) 同居の家族に、1 歳もしくは小学校就学前のお子さんがある方は、定期接種を早めに済ませるようにしましょう。
- 5) 麻しんと診断された場合には、速やかに所属の学部・研究科の学務・総務に報告してください。
- 6) 麻しんの報告が出た部局は速やかに、総合安全衛生管理機構（内線 2214）に報告してください。